

大分県鉱工業指数作成要領

(平成22年基準)

(1) 基準時

平成22年を基準年とする。したがって、指数値は平成22年の平均を100.0とした比率で示され、ウエイトは平成22年の大分県の産業構造によることとなる。

(2) 分類

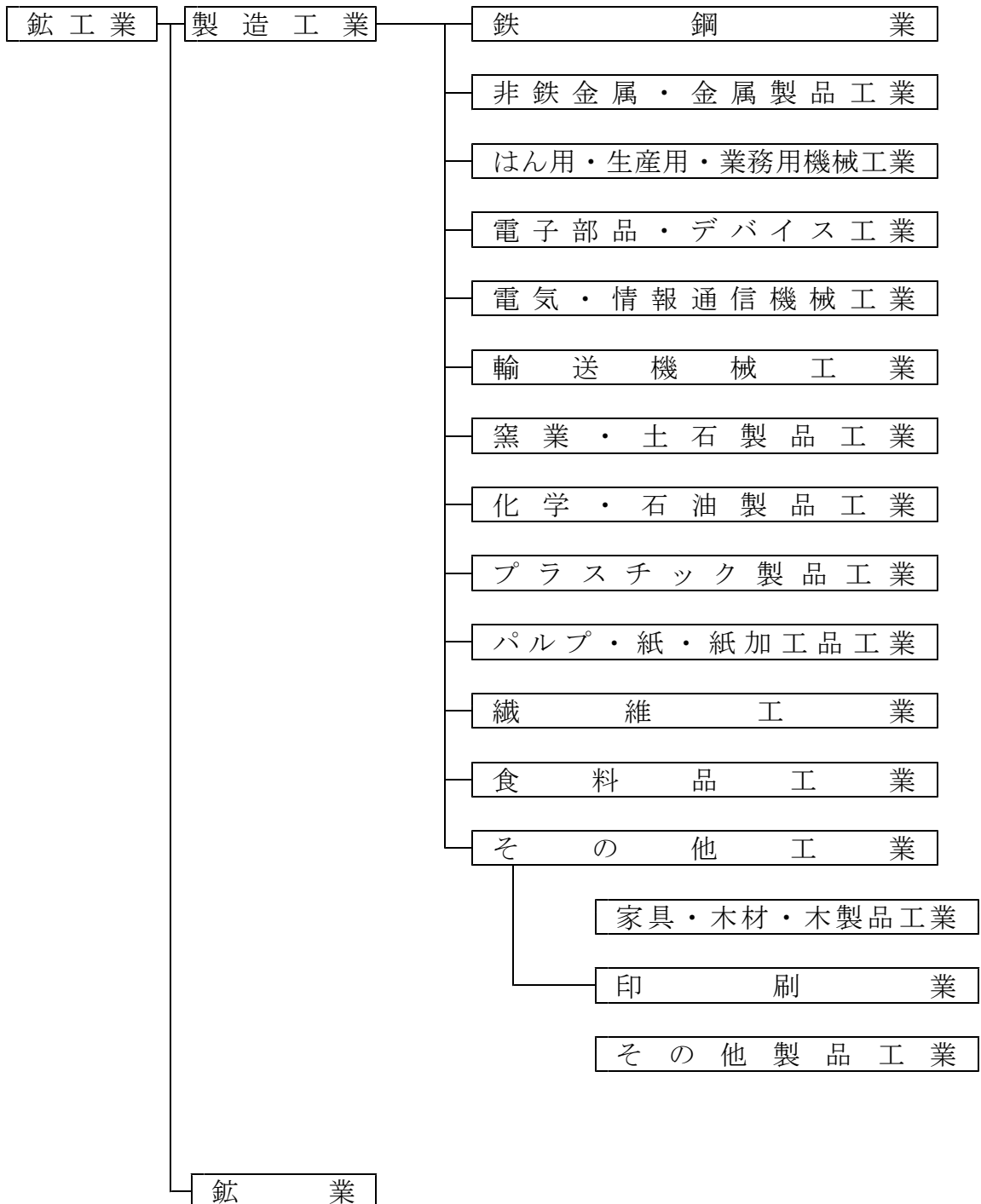
分類は、日本標準産業分類（第12回改定）（平成21年3月統計基準設定）に基づく業種分類と、採用品目をその用途により財別に格付けした特殊分類の2方法による。

ア 業種分類

業種分類は、日本標準産業分類に基づいているが、利用上の便宜から若干の組み替えを行っている。組み替えを行った主な点は、次のとおりである。

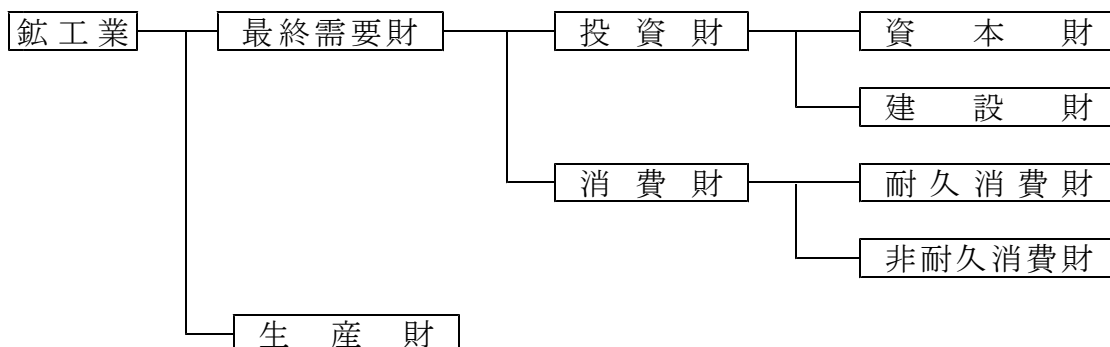
- (ア) 「食料品製造業」と「飲料・たばこ・飼料製造業」を総合して「食料品工業」とする。
- (イ) 「木材・木製品製造業」と「家具・装備品製造業」を統合して「家具・木材・木製品工業」とする。
- (ウ) 「化学工業」と「石油製品・石炭製品製造業」を統合して「化学・石油製品工業」とする。
- (エ) 「ゴム製品製造業」と「その他の製造業」を統合して「その他製品工業」とする。
- (オ) 「非鉄金属製造業」と「金属製品製造業」を統合して、「非鉄金属・金属製品工業」とする。
- (カ) 「はん用機械器具製造業」、「生産用機械器具製造業」及び「業務用機械器具製造業」を統合して、「はん用・生産用・業務用機械工業」とする。
- (キ) 「電気機械器具製造業」と「情報通信機械器具製造業」を統合して、「電気・情報通信機械工業」とする。
- (ク) 「家具・木材・木製品工業」、「印刷・同関連業」及び「その他製品工業」を統合して、「その他工業」を設ける。
- (ケ) 「なめし革・同製品・毛皮製造業」は系列を採用できないため、業種分類を設けない。

基本的な業種分類は、次のとおりである。



イ 特殊分類

特殊分類は、鉱工業の採用品目を経済的な用途により分類したものであり、その体系及び定義は次のとおりである。



分類	定義
最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料として投入されない最終製品。ただし、建設財を含み、企業消費財を除く。
投資財	資本財と建設財の合計
資本財	主として家計以外で購入される財で耐用年数1年以上の財
建設財	建築用と土木用の合計
消費財	主として家計で購入される財
耐久消費財	耐用年数1年以上で比較的購入単価が高い製品
非耐久消費財	耐用年数が1年未満、又は比較的購入単価が安い製品
生産財	鉱工業及び他の産業に原材料として投入される製品。ただし輸出用の中間生産物、企業消費財を含み、建設財を除く。

(3) 採用品目

採用品目は、基準年における付加価値の大きなものから、業種ごとに重要性、代表性、系列の信頼性、資料収集及び調査継続の可能性、地域の特殊性などを考慮して選定した。生産及び出荷指数の採用品目数は105品目、在庫指数の採用品目数は61品目である。

(4) 指数の算式

総合算式は、個別系列を基準時のウェイトで総合する基準時固定加重算術平均法（ラスパイレス算式）であり、次の算式で表される。

$$\text{総合指数} = \frac{\left\{ \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times \text{基準時ウェイト} \right\} \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}} \times 100.0$$

(5) ウェイト

ウェイトは、生産指数については付加価値額ウェイト、出荷指数は出荷額ウェイト、在庫指数は在庫額ウェイトである。

ウェイトの算定にあたっては、「平成22年工業統計調査」、「経済産業省生産動態統計調査」等を基礎資料としている。

ウェイトの計算は、まず各業種別のウェイトを算定し、ついで品目別のウェイトを算定するが、この際、非採用品目のウェイトは原則として各業種ごとに採用品目にふくらしを行い、なめし革・同製品・毛皮製造業の採用系列のない業種については製造工業全体にふくらしを行っている。

(6) 季節調整

月次系列（原指数）には、自然的要因や制度的・社会的要因などから生ずる、1年を周期とした季節的な変動が含まれている。このような季節変動を取り除くために、過去の系列から季節変動のパターンを抽出し、これを季節指数として原指数の調整を行う。原指数を季節指数で除して得られたものが季節調整済指数である。

季節指数の算出には、センサス局法X-12-ARIMAを採用している。

また、毎年1回、年間補正を行い、季節指数を更新し、前年の1月まで遡り季節調整済指数の再算定を行っている。

(7) 旧指数との接続

平成22年基準指数は、平成20年1月まで遡って計算した。

平成19年以前の指数については、次式によって算出したリンク係数を用いて、新指数と旧指数を接続させる。ただし、これは採用品目、ウェイト等の異なった指数を便宜的に接続させるものであるため、大方の傾向を知ることはできるが、連続的な比較については十分注意をすべきである。

$$\text{リンク係数} = \frac{\text{平成22年基準指数の平成20年1月から3月までの平均指数}}{\text{平成17年基準指数の平成20年1月から3月までの平均指数}}$$

※指数は季節調整済指数

品目別ウエイト表

特殊分類：資＝資本財 建＝建設財 耐＝耐久消費財
非＝非耐久消費財 生＝生産財

業種及び品目名	特殊分類	単位	H22ウエイト			定義・範囲
			生産指数 付加価値額 ウエイト	出荷指数 出荷額 ウエイト	在庫指数 在庫額 ウエイト	
鉱工業			10000.0	10000.0	10000.0	
製造工業			9869.3	9978.1	9955.5	
鉄鋼業			1319.8	1496.6	1486.8	
普通鋼半製品	生	t	×	×	×	
鋼板	生	t	×	×	×	厚板、中板
鋼帯	生	t	×	×	×	
普通鋼冷けん鋼管	生	t	×	×	×	
特殊鋼熱間圧延鋼材	生	t	×	×	×	
鉄系鍛工品	生	t	×	×	—	自動車用
非鉄金属・金属製品工業			866.4	1003.0	1077.8	
非鉄金属工業			646.8	874.9	1077.8	
粗銅	生	t	×	×	—	
電気銅	生	t	×	×	×	
電気金	生	g	×	×	×	
銅線	建	導体t	×	×	×	銅裸線、銅被覆線、電力ケーブル
金属製品工業			219.6	128.1	—	
金属製管継手	建	kg	×	×	—	
配管工事用付属品	建	個	29.7	20.7	—	
鉄骨	建	t	44.6	29.3	—	
橋りょう	建	t	×	×	—	
金属プレス製品	生	千円	17.0	8.2	—	自動車車体部品
粉末や金製品	生	kg	×	×	—	
ボルト・ナット	生	t	×	×	—	
金属製スプリング	生	kg	41.6	16.9	—	
はん用・生産用・業務用機械工業			1656.1	697.9	592.0	
はん用機械工業			215.4	104.3	×	
軸受	生	千円	×	×	×	
クレーン	資	t	×	×	—	
冷凍機応用製品	資	台	×	×	—	冷凍・冷蔵ショーケース、フリーザ、製氷機
給排水用バルブ・コック	生	kg	×	×	—	
生産用機械工業			151.3	69.8	×	
化学機械	資	千円	×	×	×	熱交換機、反応機、化学装置用タンク、その他
圧延機械	資	千円	×	×	—	
クランプ	生	千円	20.1	7.3	—	
半導体製造装置	資	百万円	61.3	28.6	—	
金型	資	kg	33.3	13.6	—	プレス用金型、プラスチック用金型
業務用機械工業			1289.4	523.8	533.6	
トナーカートリッジ	生	千台	×	×	×	
医療用機械器具・医療用品	資	千円	×	×	×	輸血用機械器具、人工臓器、透析用中空糸、その他
電子部品・デバイス工業			1173.2	874.9	22.0	
超小型電動機	生	台	×	×	—	
音響部品	生	千個	×	×	—	スピーカ、マイクロホン
半導体集積回路(線形回路)	生	千円	85.8	64.2	—	
半導体集積回路(マイコン)	生	千円	360.4	269.9	0.7	
半導体集積回路(ロジック)	生	千円	696.4	521.7	21.1	
半導体集積回路(メモリ)	生	千円	2.3	1.8	0.2	
半導体集積回路(CCD・その他)	生	千円	13.9	10.4	—	

品目別ウエイト表

特殊分類：資＝資本財 建＝建設財 耐＝耐久消費財
非＝非耐久消費財 生＝生産財

業種及び品目名	特殊分類	単位	H22ウエイト			定義・範囲
			生産指数 付加価値額 ウエイト	出荷指数 出荷額 ウエイト	在庫指数 在庫額 ウエイト	
電気・情報通信機械工業			419.2	1052.6	—	
電気機械工業			53.3	36.6	—	
低圧遮断器	建	台	×	×	—	
開閉制御装置	資	百万円	12.1	4.7	—	
電気照明器具	生	千個	×	×	—	
情報通信機械工業			365.9	1016.0	—	
ビデオカメラ	耐	台	×	×	—	
デジタルカメラ	耐	台	×	×	—	
ファクシミリ	資	台	×	×	—	
輸送機械工業			773.3	1198.6	17.8	
軽・小型乗用車	耐	台	×	×	—	
トラック(軽自動車)	資	台	×	×	—	
自動車部品	生	千円	211.3	191.5	—	機関部品、駆動伝導及び操縦装置部品、懸架制動装置部品、シャシー・車体部品、乗用車用エアコン
ワイヤーハーネス	生	千円	49.1	34.0	17.8	
鋼船	資	t	×	×	—	
プラスチック船	資	t	8.3	4.3	—	
窯業・土石製品工業			446.8	222.8	580.5	
セメント	建	t	×	×	×	
セメントクリンカ	生	t	×	×	—	
生コンクリート	建	m ³	60.9	34.4	—	
コンクリート製品	建	t	32.5	17.3	252.7	護岸用コンクリートブロック、道路用コンクリート製品
衛生陶器	建	個	×	×	×	水洗式便器、洗面手洗器、タンク・流し類
ファインセラミックス	生	千個	×	×	×	
不定型耐火物	生	t	×	×	×	キャスタブル耐火物、その他
石灰	生	t	39.7	18.2	19.0	生石灰、消石灰、炭酸カルシウム
化学・石油製品工業			1527.5	2450.9	5095.8	
化学工業			×	×	×	
複合肥料	生	t	×	×	×	化成肥料
酸素ガス	生	千m ³	×	×	×	
硫酸	生	t	×	×	×	
二硫化炭素	生	t	×	×	×	
石油化学系基礎製品	生	t	×	×	×	エチレン、プロピレン、ブタン・ブチレン
石油系芳香族	生	t	×	×	×	純ベンゼン、純トルエン、キシレン、パラキシレン
脂肪族系中間物	生	t	166.0	262.0	371.0	アセトアルデヒド、酢酸、酢酸エチル、合成アセトン、分解ガソリン、酢酸ビニルモノマー
環式中間物	生	t	×	×	×	スチレンモノマー、その他
プラスチック	生	t	177.0	205.1	1818.5	ポリエチレン、ポリプロピレン
合成ゴム	生	t	×	×	—	クラム、ポリブタジエン
医薬品	非	千円	199.5	121.9	—	
農薬	生	t	×	×	×	
石油製品工業			×	×	×	
ガソリン	非	kl	×	×	×	
ナフサ	生	kl	×	×	×	
ジェット燃料油	生	kl	×	×	×	
灯油	非	kl	×	×	×	
軽油	生	kl	×	×	×	
A重油	生	kl	×	×	×	
C重油	生	kl	×	×	×	
液化石油ガス	非	t	×	×	×	

品目別ウエイト表

特殊分類：資＝資本財 建＝建設財 耐＝耐久消費財
非＝非耐久消費財 生＝生産財

業種及び品目名	特殊分類	単位	H22ウエイト			定義・範囲
			生産指数 付加価値額 ウエイト	出荷指数 出荷額 ウエイト	在庫指数 在庫額 ウエイト	
プラスチック製品工業			384.3	187.3	154.7	
プラスチックフィルム	生	t	42.1	27.9	70.0	軟質製品、硬質製品
工業用プラスチック製品	生	千円	328.8	148.0	48.5	輸送機械用、電気機械用、その他
プラスチック製容器	生	t	13.4	11.4	36.2	飲料用プラスチック容器、その他
パルプ・紙・紙加工品工業			128.9	74.9	102.8	
衛生用紙	非	t	×	×	×	トイレットペーパー、その他
段ボール原紙	生	t	×	×	×	外装用ライナー
白ボール	生	t	×	×	×	
雑板紙	生	t	×	×	×	建材原紙、紙管原紙、その他板紙
段ボール箱	生	千㎡	15.5	12.5	4.8	
繊維工業			46.2	20.4	70.7	
綿糸	生	t	×	×	×	
綿・スフ織物	生	㎡	×	×	×	
外衣	非	点	21.5	9.0	18.1	織物製、ニット製
下着	非	点	10.6	4.0	—	
食料品工業			824.9	535.9	476.1	
枝肉	非	t	30.7	53.9	—	
処理牛乳	非	t	23.4	28.6	—	
みそ	非	t	21.2	13.5	12.9	
しょうゆ	非	kl	19.6	15.1	46.9	
ドレッシング	非	l	31.7	16.0	38.6	
弁当	非	千円	29.6	15.0	—	
清涼飲料	非	千円	×	×	×	炭酸飲料、果実飲料
ビール(発泡酒を含む。)	非	kl	×	×	×	
清酒	非	kl	24.5	9.2	—	
焼酎	非	kl	466.4	280.2	—	
その他工業			302.7	162.3	278.5	
家具・木材・木製品工業			109.3	64.3	254.2	
木製家具	耐	個	36.7	18.0	59.1	
一般製材	建	千㎡	72.6	46.3	195.1	板類、ひき割類、ひき角類
印刷業			92.4	38.3	—	
平版印刷(オフセット印刷)	生	千円	92.4	38.3	—	
その他製品工業			101.0	59.7	24.3	
工業用ゴム製品	生	新ゴム量t	×	×	24.3	防振ゴム、パッキン類、その他
運動競技用具	非	個	×	×	—	ガット
鉱業			130.7	21.9	44.5	
けい石	生	t	12.3	2.0	4.3	
石灰石	生	t	118.4	19.9	40.2	